

# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(H29年～R1年度:計画作成主体:由仁町農業再生協議会)(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 加工適性に優れた「大地の星」の直播栽培拡大による新規契約販売の実施  
 計画作成主体 : 由仁町農業再生協議会  
 対象品目 : 水稲(大地の星)(産地面積:14.1ha)  
 主な取組主体 : そらち南湛水機械利用組合由仁支部  
 成果目標 : 契約栽培割合の10%以上の増加かつ50%以上  
 助成金の活用 : 生産支援事業(機械リース)  
 状況 (湛水直播機 1台)

## ポイント

極耐冷性及び耐病性に優れ、実需者からの引き合いが強い「大地の星」について、省力化に対応した湛水直播栽培を拡大するとともに、実需からの産地指定により契約販売に取り組み、契約栽培割合の10%以上の増加かつ50%以上を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 12.8ha

(湛水直播面積 : 12.8ha)

労働力不足や低米価による安定しない経営状況

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 14.1ha

(湛水直播面積 : 14.1ha)

湛水直播栽培の拡大による省力化、産地指定による契約栽培の拡大



## 産地体制

地域の関係者(由仁町農業再生協議会、由仁町、そらち南農業協同組合、空知農業改良普及センター)が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

J A・普及センターが中心となり高収量や高品質を目指す栽培方法に関する研究及び統一した作付時期・出荷時期体制を確立する作付出荷統制の検討を行い、統一的な生産を実施。

〈市町村単独事業〉

J A・町が協調して、水稲直播栽培の技術習得及び地域の気象・日照条件等を考慮した適期播種・収穫等の栽培技術確立を目指した水稲栽培の低コスト生産化を推進。

## 取組成果

- 湛水直播栽培の拡大による省力化と産地指定による契約栽培により、収益の確保と経営が安定。
- 労働力不足や低米価に対応した担い手モデルとなり、収益向上により水稲(大地の星)の産地強化を実現。

契約栽培の割合が66%に増加  
(達成率124.5%)

～水稲(大地の星)の契約栽培の契約割合～

